

田んぼの学校「稲刈り」を実施しました。

令和元年10月9日（水）に新地町立駒ヶ嶺小学校の5年生25人が、地元生産者の八巻賢次さんの協力の下、5月に田植えをした稲の収穫を行いました。

稲刈りの作業は、鎌による手刈りと稲を束ねる役割に分かれて行いました。最初は慣れない作業に苦戦している様子でしたが、徐々に笑顔も見られるようになり、収穫の喜びを感じているようでした。

最後に、普段見ることのないコンバインの中身や仕組みを教えてもらい、子どもたちは目を輝かせて話に聞き入っていました。コンバインによる刈り取りを実演すると子どもたちから歓声が上がリ、お米や生産者に関心を高めているようでした。

今後は、収穫祭を行う予定です。

【田んぼの学校とは】

田んぼの学校は、古くから農業の営みの中で形作られてきた水田や水路等を学びの場として活用し、体験活動を通して子どもたちに「農業・農村地域の大切さ」「環境の大切さ」「食・命の大切さ」についての理解を深め、豊かな感性と深い見識を持ってもらうことを目的として実施しています。



稲の束ね方を教える八巻さん



コンバインによる稲刈り



手刈りする児童



コンバインの運転席に座る児童